

産廃処理の画像チェックシステム導入

日本リソース 全国初の総代理店も担当

産業廃棄物、および特別管理産業廃棄物の収集、運搬を手掛ける、日本リソース㈱（福岡市中央区天神5丁目、麻生大輔社長）は、11月1日から、産業廃棄物の廃棄状況を写真で確認できる産廃処理システムを県内で初めて導入した。

これは同社の顧客となる産業廃棄物排出企業が、依頼した廃棄物がいつ、どこで、どのような状態で処理されたかを写真を通して確認できるサービス。名称は「産廃証明 e-di」。同製品はアースデザインインターナショナル㈱（東京都）と、三菱電機㈱（東京都）が開発したもので、同社は全国初で同システムの全国エリア総代理店も担当している。同社では今後07年度内に約100社のクライアントへ同サービスを開始する。サービス内容は、処理場などで廃棄物運搬者が携帯カメラで処理施設の状況、場所、廃棄物の内容を写真にとり、転送すればパソコン画面でその画像を確認することができ、正確に運搬されたかどうかをチェックできるというもの。また、携帯電話に内蔵されているGPSから、運搬車の位置や処理場までの到着時間も正確に把握できるという。

麻生社長は「このサービスを開始することで、顧客満足度や、顧客からの信頼度向上につながるはず。産廃の廃棄状況を開示することで、依頼企業への安心につなげていければ」と話している。

同社は1944年12月設立。資本金6000万円。従業員数17人。06年3月期売上高は2億3000万円。麻生社長は北九州市出身。今年2月同社社長に就任する前は、ICカードや3G技術提供などを手掛けるオベルチュール・カードシステムズ・ジャパン（本社・フランス）の日本国現地法人の社長を務めていた。1968年5月31日生まれれの38歳。セントラルクイーンズランド大学理工学部卒。趣味はゴルフ、ドライブ。

（国元）